



日本維新

Vol.6

発行日/平成25年5月25日

発行元

日本維新の会

党本部

〒542-0082

大阪府大阪市中央区

島之内一丁目17番16号

TEL06-4963-8800 FAX06-4963-8801

国会議員団本部

〒107-0052

東京都港区赤坂一丁目11-28

常和赤坂一丁目ビル4F

TEL03-3582-8111 FAX03-3582-8112

橋下代表 「憲法96条」改正の 是非を語る



「憲法96条」の改正について議論が高まるなか、橋下徹代表がその是非について語った要約を紹介します。そこにはまず、「憲法を国民全体で考える機運を高めたい」という思いがありました。

政治や行政、司法に対する世の中の批判の根本原因是、統治機構を規定している憲法のゆがみだ。何とか憲法を国民全体で考える機運を高めたいと考えていた。日本維新の会を作る際、「そこが変わればすべてが変わっていくものは何か」と考えた時に憲法96条を思いついた。議論をしっかりやるには、憲法が変わる可能性が背後にはないと本気の議論にならない。参院選でもっと議論を盛り上げていければと思っている。

96条の国会発議要件を「2分の1以上」に引き下げるなどを緩和だとは思わない。日本の憲法改正手続きの一番の特徴は「3分の2以上」の発議ではなく、最後に国民投票にかけるということだ。99条の憲法尊重擁護義務の対象から国民が外れている意味は、現行憲法がこの憲法自体を信じるのか否かも国民の自由な判断に任せているということだ。「護憲派」と言われる人たちが現行憲法を本当に守りたいのであれば、国民の判断にゆだねるのが筋だ。護憲派は「移ろいやすい国民世論にゆだねるのは危険だ」「一時の国民感情で憲法を変えていいのか」というが、それは日本国憲法という極限まで国民を信じる憲法の価値観にそぐわない。

司法試験の勉強では個人の尊厳を明記する憲法13条が一番重要だと習うが、13条をも変えうる力をもつ96条の方がより重要だ。だが現行憲法制定時の衆院の議事録を見ると、96条は「質疑なし」でまったく議論されていない。憲法制定過程の大欠陥だ。日本人が初めて経験する憲法改正議論として、感情的なイデオロギー闘争とならない96条改正がもっともふさわしい。

国会での議論を見ると、憲法の教科書すら読んだことのない国会議員がなぜ憲法について簡単に意見できるのかと思う。現行憲法には主権者である国民が国家権力を縛るという立憲主義が込められている。その底にある憲法論の奥深さは、刑法や民法などに比べても桁が違う。国民に特定の価値観を強要する憲法改正を目指すような議論はす

ごく怖いことだ。

国会議員など公選職だけで96条改正案を作ることはできない。憲法改正権は国民主権そのものだ。専門家を集めてしっかり考える。改正案の制度設計だけでも1、2年かかる。改憲勢力が衆参3分の2を保っている間に改正できるようなスケジュールで、立法権など三権からは独立した「憲法改正国民会議」を設置し改正案を作りたい。会議は、改正案の中身を作るためのものだ。メンバー選びは政治の役割だと考えている。遅くとも次の衆院選までの間に改正するという時間軸を考えている。96条は3年以内に決着がつけられる。

僕は石原慎太郎共同代表の憲法観を理解している。第二次大戦、敗戦、連合国による占領の状況をじかに見てきた石原代表の感覚を否定することはできない。だが現行憲法を「押しつけだ」というだけでは今の国民には通じない。だから現行憲法の制定過程をもっと国民に知ってほしい。現行憲法には制定過程に大きな欠陥がある。制定過程こそが現行憲法の一番ぐらつく弱点だ。そうすると「一回きちんと憲法を作ろうか」という議論になるはずだ。

「道州制」や「首相公選制」は統治機構の根本に関わる話で、半年や1年そこらではできない。欲張ると何一つまとまらない。だから96条に絞る。ただ法案の衆院再議決の要件を定めた59条に関しては、無機質でテクニカルな問題なので、同時にいけるかもしれない。統治機構改革は96条さえ変えられれば4、5年後にでも実現は可能だ。

96条改正の先にある具体的な憲法の中身の議論に移れば、またいろいろグループ分けが起こるかもしれない。私はガチガチの立憲主義論を前提としている。国民に特定の価値観を強要する憲法改正には簡単に賛成できない。憲法観は政治家の行動原理で一番重要だ。憲法改正議論を通じて政界再編が起こる可能性もあるだろう。

(橋下徹代表談)

「みんなで日本を変えていく!」 身近な政治をアピール

4月27日・28日の両日、千葉市の幕張メッセで開催された「ニコニコ超会議2」に、日本維新の会もブースを設けてネットユーザーたちと交流。日本維新の会の議員たちが生の声でわかりやすく政策を伝えることで、若いネット世代に身近な政治をアピールしていました。



来場者やニコニコ動画に流れるコメントと交流をはかりながら進められたトークディスカッション

会場から『維新なチャンネル(仮)』を生放送

ネット上に流れる「ニコニコ動画」をリアルな舞台で再現しようという「ニコニコ超会議2」は今年が2回目。2日間で10万3561人の来場者を集めました。

今回はネット選挙法の成立を受けて、日本維新の会をはじめ、4つの政党がブースを設置。日本維新の会は、公式番組

『維新なチャンネル(仮)』のスペシャル版として、トークディスカッションを生放送しました。中丸啓衆議院議員の軽妙な語り口の進行のもと、多くの議員が参加。

わかりやすく、そして真摯に日本維新の会のスタンスや具体的な政策について語り合われました。

5月8日、参議院選挙対策本部を開所。

参院選挙に向けて
いよいよ
始動しました。



国会議員団本部に看板をかける石原代表と平沼代表代行

5月8日、日本維新の会は、参院選対策本部を大阪市の党本部と東京・赤坂の国会議員団本部に設置しました。東京・国会議員団本部の設置式には、国会議員約30人が参加。石原慎太郎代表が、挨拶のあと「ふんどし締め直して出直す。出直すつもりで戦わないと悔いを残す」と力強く語っています。

選対本部長代行に就いた藤井孝男国會議員団総務会長が、「最低でも2ヶタの議席を獲得したい」と目標議席を定め、党内の結束を呼び掛けました。大阪の党本部の設置式では、在阪幹部が看板かけを行っています。

生放送に松井幹事長や東国原議員らが続々と飛び込み参加

トークディスカッションには、松井一郎幹事長や東国原英夫衆議院議員をはじめ、「ニコニコ超会議」の仕掛け人である株式会社ドワンゴの取締役・夏野剛氏、ジャーナリストの井上和彦氏、さらには他党の議員たちも飛び込み参加。ブースは大いに盛り上りました。



来場者からの質問にも、ユーモアたっぷりに答える東国原衆議院議員



日本維新の会を立ち上げた経緯や、政治への思いを語る松井幹事長



夏野剛氏

来場者が選挙ポスター風の画像をフェイスブックに

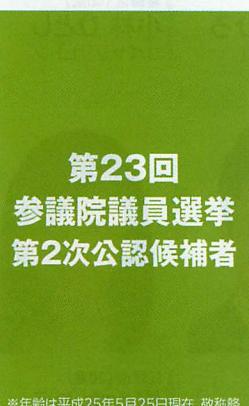
公務のために会場を訪れることが出来なかつた橋下代表は、等身大パネルで参加。来場者の方たちが並んで記念撮影する様子が多く見られました。また、自分の顔写真が選挙ポスター風に加工されフェイスブックにアップロードされる「チームラボカメラ」が、多くの来場者の人気を集めしていました。



ニコ超区
日本維新の会

「チームラボカメラ」とは、フェイスブック連動型のデジタルサイネージ。このカメラで撮影すると画像が日本維新の会の選挙ポスターに加工され、フェイスブックにアップロードできる。

記念撮影用に設置された橋下代表の等身大パネル



第2次公認候補者



比例区(55歳)
石井 よしあき
イシイ ヨシアキ



比例区(73歳)
上野 公成
ウエノ コウセイ



比例区(43歳)
片岡 伸子
カタオカ ノブコ



大阪府選挙区(46歳)
東とおる
アズマ トオル

第3次公認候補者



茨城県選挙区(55歳)
石井 あきら
イシイ アキラ



東京都選挙区(55歳)
小倉 淳
オグラ ジュン



比例区(66歳)
むろい 邦彦
ムロイ クニヒコ



比例区(63歳)
中津川 ひろさと
ナカツガワ ヒロサト



比例区(45歳)
松村 よしやす
マツムラ ヨシヤス

第3次以降の公認候補者

日本維新の会 平成25年 東京都議会議員選挙 候補予定者

今後は首都東京を「維新」します。
東京で維新の会を躍進させましょう。
公認予定候補者をご紹介いたします。

東京都総支部代表・衆議院議員

山田 宏



新宿区(35歳)
おの けん一郎
オノ ケンイチロウ



文京区(70歳)
宮崎 文雄
ミヤザキ フミオ



墨田区(30歳)
森山 一
モリヤマ ハジメ



江東区(38歳)
川北 直人
カワキタ ナオト



品川区(33歳)
筒井 洋介
ツツイ ヨウスケ



目黒区(43歳)
つちや 克彦
ツチヤ カツヒコ



大田区(38歳)
やながせ 裕文
ヤナガセ ヒロフミ



大田区(68歳)
永井 ひろおみ
ナガイ ヒロオミ



世田谷区(46歳)
花輪 ともふみ
ハナワ トモフミ



世田谷区(39歳)
えびさわ ゆき
エビサワ ユキ



中野区(45歳)
吉田 康一郎
ヨシダ コウイチロウ



杉並区(25歳)
小沢 ゆう
オザワ ユウ



杉並区(37歳)
荒木田 そう
アラキダ ソウ



豊島区(53歳)
矢島 富美
ヤジマ フミ



北区(30歳)
くりした 善行
クリシタ ゼンコウ



荒川区(38歳)
町田 たかし
マチダ タカシ



板橋区(43歳)
岡林 ひろか
オカバヤシ ヒロカ



練馬区(37歳)
あみの 卓男
アミノ タツオ



練馬区(32歳)
松岡 rika
マツオカ リカ



足立区(55歳)
鈴木 かつひろ
スズキ カツヒロ



葛飾区(40歳)
小林 ひとし
コバヤシ ヒトシ



江戸川区(27歳)
中津川 まさあき
ナツカワ マサアキ



八王子市(39歳)
島内 ゆきえ
シマウチ ユキエ



三鷹市(47歳)
若林 アキ
ワカバヤシ アキ



昭島市(32歳)
北里 貞之
キタザト サダユキ



町田市(48歳)
友井 かずひこ
トモイ カズヒコ



小平市(43歳)
伊藤 央
イトウ ヒサシ



日野市(30歳)
佐々木 えりえ
ササキ リエ



西東京市(40歳)
山崎 英昭
ヤマザキ ヒデアキ



西多摩(32歳)
山本 ゆうき
ヤマモト ユウキ



南多摩(61歳)
石川 良一
イシカワ リョウイチ



北多摩第一(39歳)
野田 かずさ
ノダ カズサ



北多摩第二(47歳)
橋口 徹
ハシグチ トオル



北多摩第三(41歳)
松浦 たけあき
マツウラ タケアキ



北多摩第四(28歳)
伊集院みちのぶ
イジュウイン ミチノブ